

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2025年9月157号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画 株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG 熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけたら幸いです。

いつも

ありがとうございます



こんにちはー渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。

誰のミスであれ、それを指摘しなければ仕事に支障をきたします。ただ、対人関係に摩擦が生じることを恐れて間違いを指摘することをためらう人は多いです。

摩擦を恐れずに間違いを指摘できる環境を作るためには、「誰が言ったか」ではなく「何が言われたか」に注目することが大切。そのために必要なのは、部下が上司を、上司が部下を信頼できることです。

一度の失敗で無能と判断せず、部下の失敗が自分の指導不足によるものと自覚する姿勢が重要だと思っています。

組織学習の一環として半月ごとに「アクションラーニング」を実施しています。

就業時間内に一時間程度かけて行うのですが、一人ひとりが前回立てた目標に対して「誇りに思うこと・残念に思うこと・挑戦したいこと・助けてほしいこと」の4つの視点で語ります。参加者は賞賛したり、一緒に悩みについて考えたりしながら次の目標を設定します。

信頼関係が深まり、周囲から認めてもらっている実感感できることで、モチベーションの向上や生産性の向上につながっています。



アクションラーニング



手書きなので
枚数に限りはありますが、
絵はがきをお届けしています。

晴れの日にはおめでたい祝い盛をと思い、今月は美味しそうなお刺身の盛り合わせを描いてみました。

最近複数のお客様が、熊本県や熊本市の優良工事の表彰を受けている記事を建設新聞で拝見し、何かお祝いの気持ちをお伝えする名案がないかと頭を捻りながら考えついたのがこの縁起はがきです。建設業の皆様、生活に不可欠なインフラの整備や今回の災害時には迅速なご対応をありがとうございます。感謝でございます。



生命保険お役立ち一口情報

生命保険に加入する際には、契約申込書、医師の診断、第1回目の保険料納付の3点がそろう必要があります。

ところが、申込書の不備のほか、医師の診断結果で保険を引き受けられる健康状態にないと保険会社が判断した場合、保険契約の引受けができないといったことが起こり得ます。

ただまれに新たな保険の成立前に現在加入の保険を解約してしまう人がいるのです。この場合、もし新たな保険が成立しなければ、無保険状態になってしまいます。しかも、健康状態が問題で断られたのであれば、別の保険会社でも同様に断られる可能性が高くなります。

生命保険の見直しの際は、現在加入の保険の解約は必ず、新たな保険成立後に行うようにご注意ください。





水災後の生活再建！ 公的支援や民間保険で円滑に



8月上旬の大雨被害について、国が復旧にかかる費用を負担する「激甚災害」に指定する方針を明らかにしました(8/18時点)。

自宅が水災など自然災害で被害を受けた人には様々な公的支援制度があるほか、加入していれば民間の火災保険で水災補償の対象となります。その際、自宅の状況を写真で撮るなど被害状況が分かる証拠があると、手続きが円滑に進みます。



内閣府の防災担当者は物差しやペットボトルで「浸水の高さが分かるように撮ることが大切」だと話しています。浸水の跡を撮ることが大切なのは、

公的支援で必要な「罹災証明書」を自治体に発行してもらう際に役立つからです。罹災証明書は住宅の被害度合いを認定し、柱や壁などの損害割合が50%以上の「全壊」から10%未満の「一部損壊」まで6段階あります。

公的支援は被害区分で給付内容は変わり、全壊が10世帯以上の市町村などに適用する「被災者生活再建支援制度」は、被害区分に応じて基礎支援金を支給します。これは当面の生活を支えるのが主な目的です。

長期の住宅再建向けには「災害復興住宅融資」、被災した住宅ローン返済が困難な場合は「自然災害債務整理ガイドライン(被災ローン減免制度)」もあります。



肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回ご紹介するのは沢登りです。

向かったのは福岡県と佐賀県にまたがる脊振山にある車谷という沢を登ってきました。ここは脊振山へ向かう登山口から入渓します。登山道が沢沿いにあるのでいざというときには安心な沢になります。

とはいえ、やはり沢登りは一番危険度が高いので気を引き締めて登っていきます。滝が現れると低い滝なら思い思いのルートに登れますが、写真のような高い滝はロープを使って安全を確保するのですが、最初にかかる人は危険度Maxですので慎重に登ります。沢登りは登山、クライミング、ルートファインディングなど登山技術の終結です。とにかく安全第一で楽しい沢登りを心掛けます。間違えば死につながるのので気を抜けないスポーツです。



車谷で一番高い滝

ウェルビーイング推進事務局より



ライフステージに左右されない長い活躍を創造する creative café。女性経営者がカフェ店主となり、女性従業員がふらっと訪れ、アイスコーヒーとお菓子を頂きながらじっくり話をする、というイメージで設定。

年代別に仕事や生活の悩みも違います。話しづらいことも同性の経営者だからこそ寄り添うこともでき、今後の人材育成、能力開発、職場改善に繋げていくことを目指します。密接に関わる女性の健康とキャリア形成を真剣に考え、今現在の仕事の状況と身体の状態をヒヤリング。一人一人に取り組んで欲しいこと、成長の機会の積極的な提供であったり、もっと可能性を開花するための具体的な取り組みを伝えました。何より健康で仕事のやりがいに繋げ、それぞれの個性を最大限に引き出せる肥後保険企画でありたいと考えています。



creative café

経営と冒険



辰野氏いわく、登山と経営には多くの共通点があるといい、経営で要求される能力の多くを登山で身につけたそうです。日本経済新聞の私の履歴書に連載したコラムの書籍化で、自身の半生を綴っています。極限状態に置かれたときの経営者やリーダーに必要な胆力を学ぶことができて、お勧めの一冊です。

「たとえ目先の成功確率が高くても、将来の存続が危ぶまれる道は選ばず、リスクを覚悟して決断してきた。この判断も私は登山や冒険で鍛えられてきたように思う」。

辰野氏いわく、登山と経営には多くの共通点があるといい、経営で要求される能力の多くを登山で身につけたそうです。日本経済新聞の私の履歴書に連載したコラムの書籍化で、自身の半生を綴っています。極限状態に置かれたときの経営者やリーダーに必要な胆力を学ぶことができて、お勧めの一冊です。

乱読コーナー

今年で創業50周年を迎えるアウトドア用品メーカーのモンベル。

創業者で現会長の辰野勇氏は、1969年に当時世界最年少の21歳でスイスのアイガー北壁を登頂するなど、冒険家でもあります。

「たとえ目先の成功確率が高くても、将来の存続が危ぶまれる道は選ばず、リスクを覚悟して決断してきた。この判断も私は登山や冒険で鍛えられてきたように思う」。